

令和6年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立調布大塚小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・習得の場面で、形や色の特徴や用具の使い方をペアで確かめたり、教え合ったりすることで、知識・技能の定着につなげることができた。
- ・習得したことを活用して主体的に表現することができた。
- ・学習用タブレットを活用して造形的な特徴や技法を調べたり鑑賞したりすることを通して、制作過程を見通したり発想を広げたりすることにつなげることができた。

(2) 課題

- ・児童の知識・技能の習得につながる指導の工夫
- ・題材の目標としている発想や構想の力を高める指導の改善
- ・学習用タブレットの効果的な活用

2 授業改善のポイント(観点別)

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・形や色の特徴や用具の使い方について、ペア学習や教え合いを通して理解させる場面を繰り返し設定する。	・楽しく発想・構想することができるよう、話し合い活動の場数を多く設定したり、振り返りの場面で互いの作品の良さを認め合ったりする時間を設定する。	・楽しく表現したり作り出す喜びを味わったりできるように、材料や用具に十分に慣れさせる場面を設定する。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・形や色の特徴を理解し表現の幅を広げさせるために、ペア学習や教え合いを通して理解確認する場面を十分に設ける。	・豊かに発想・構想することができるよう、学習用タブレットを活用する。話し合い活動で発想を広げさせたり、学習カードで思考を整理させたりする時間を設定する。	・すすんで表現できるように、試行錯誤できる題材設定を工夫する。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・造形的な視点について、ペア学習や教え合いを通して理解確認する場面を十分に設ける。 ・既習事項について繰り返し復習する機会を設け、活動を通して定着につなげる。	・創造的に発想・構想することができるよう、学習用タブレットを活用したり、題材全体の活動の流れを提示したりして見通しをもたせながら、話し合い活動を繰り返し設定したりする。	・主体的に表現できるように、題材全体の活動の流れを提示し見通しをもたせたり、他教科等と関連のある題材を計画し、内容や実施時期を工夫したりする。

